

しあわせ

vol.27
2024年4月



【巻頭言】2024年度を迎えて

社会福祉法人 京都社会事業財団 理事長 野口 雅 滋

各施設の令和6年度 事業計画

児童福祉事業「中期計画」について

北野保育園 園長 澤村 忠 則

高齢・障害者事業「中期計画」について

高齢事務センター センター長 阿部 裕 光

「西芳寺(苔寺)の庭園」

西芳寺の庭園は作庭当時(1339年)は白砂の日本庭園でしたが、西芳寺川の度重なる氾濫・洪水によって寺は荒廃。洪水が肥沃な土を運んだことで苔が自生し、江戸末期には現在のように苔むした姿になったといわれています。

今では120種もの苔に覆われる「苔寺」の境内は、ひと雨ごとに緑を深めています。雨上がりには苔の緑も一際みずみずしく、自然の織りなす曲線で構成される苔庭は、人々の心に清々しさとやすらぎを与えてくれます。

「西芳寺 公式ウェブサイト」より

各施設の所在地

京都桂病院
京都厚生園
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
西陣病院
京都からすま病院
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
北野保育園
成逸センター
京都からすま病院
成逸センター
北野保育園
西陣病院
二条保育園
二条保育園
二条保育園
昭和保护園
京都桂川園
京都桂川園久世障害サービスセンター・ショートステイ



社会福祉法人 京都社会事業財団

Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地(京都桂病院内) TEL075-391-5811代 / FAX075-393-0140
URL <https://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/法人本部事務局 発行日/2024年4月25日 印刷/有限会社 アクト

法人職員 2,500名



社会福祉法人 京都社会事業財団

Kyoto Social Welfare Foundation

令和6年度 各施設の 事業計画

西陣病院



基本方針

一般診療と透析診療を中心に高いレベルの医療を提供します。地域に密着したケアミックス病院として、急性期から回復期、慢性期まで切れ目の無い優しい医療を提供します。職員にとって働き甲斐のある職場環境をつくりまします。

重点項目

- 1 近隣、かかりつけ、開業医、救急由来の患者さんの受け入れの徹底
- 2 「医師の働き方改革」本格導入に伴い、医師の勤務体系の見直しやタスクシフト・タスクシェアの推進
- 3 ICTの導入や電子カルテのバージョンアップを行い、医師・看護師の業務負担を軽減

〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
URL: <https://www.nishijinhp.com>
E-mail: nisijin@nisijin.net

京都桂病院



基本方針

引き続き、がん医療と高度急性期・急性期医療、それを支える救急医療そして5疾病6事業を含めた質の高い医療で地域に貢献することを目指す。COVID-19の影響もあり足踏みしていた新入院患者数が1100人を超えることを目標とする。また入院医療や外来医療の生産性を上げ医師事務作業補助者の増加、タスクシェアなども進める。

重点項目

- 1 DPC特定病院群として高度急性期・がん・救急の医療をさらに充実させる
- 2 新入院患者数1100人超えを実現する
- 3 働き方改革・DXを進め外来・入院の効率性を上昇させる

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-4224
URL: <https://www.katsura.com>
E-mail: info@katsura.com

にしがも透析クリニック



基本方針

平成22年4月に開設した、にしがも透析クリニックの診療、運営を充実し、継続するとともに、目標を「安定した維持透析と自立した日常生活への支援」とし、適正な透析の提供に努めます。また、職員の協力を得て、透析への理解を深め、医療安全管理、院内感染対策などの充実を図ります。

重点項目

- 1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策
- 2 自宅からの通院患者、にしがも舟山庵入居者の新規受け入れ増対策
- 3 西陣病院、にしがも舟山庵、在宅医療に携わる医師や看護師、透析導入実施医療機関との連携

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
URL: <https://nishigamo-hdc.jp/>
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

京都からすま病院



基本方針

事業譲渡から4年経過したが、この間看護師の大量退職に始まり、COVID-19による院内クラスター発生等、健全経営には程遠い4年間であった。2024年度は経営再建に取組む実質初年度となるが、病院理念「思いやりのある医療を実現します」の下、第II期中期計画(2023~2026年)に則り、重点項目を具現化して取組む。

重点項目

- 1 健全経営: ①病床稼働の向上、②外来患者増患、③救急応需体制改善
- 2 選ばれる病院: ①患者さんを選ばれる、②地域に選ばれる、③職員に選ばれる
- 3 医療の質向上: ①TQM活動の推進、②チーム医療の推進、③EBMの実践

〒603-8142 京都市北区小山上総町14
TEL: (075) 491-8559 FAX: (075) 492-4304
URL: <https://www.karasuma-hp.com>
E-mail: info@karasuma-hp.com

巻頭言

年度がかわって2024年度になりました。皆さんよくご存じの通り、この4月に報酬改定が行われました。私たちが提供しているサービスの利用料は措置費や委託費で受け取る以外は、報酬という形で支払われま。医療であれば診療報酬、高齢福祉であれば介護報酬、障害福祉であれば介護報酬、障害福祉は障害福祉サービス等報酬という形でその額が決まっています。この報酬額は公定価格で、自分たちが勝手に上げることも下げることができません。診療報酬は2年に1回、介護報酬と障害福祉サービス等報酬は3年に1回改定されるので、6年に1回、すべての報酬額が一気に変更される年がめぐってきます。この4月1日はまさにその同時改定の時期で、3報酬が一気に改定されトリプル改定と呼ばれました。

今回は「賃上げ改定」「ベアアップ改定」と呼んで良いような改定になりました。診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬総てでわずかながらプラス改定でしたが、増収の使い道はほぼ職員の賃金アップに限定されました。少子化で生産年齢人口の減少が続く、すべての産業で人材確保が喫緊の課題となっています。他の産業では賃上げに転じているなか、医療・福祉の分野でも賃上げを実現しないと、他産業に伍して人材を確保することができません。今回の報酬改定は、アップ分を賃上げの原資として使うようにという改定になりました。

しかし、現在人材確保だけが問題になっている訳ではありません。人口の高齢化も進行し、高齢化率が30%に迫っています。75歳以上の人口が2000万人を超え、10人に一人が80歳以上となりました。高齢者が安心して生活を送るためには、我々が提供している医療・福祉の必要性がますます高まっています。しかもこの医療・福祉が切れ目なく提供されることが、高い質のサービス提供には欠かせません。今回の改定で、医療と介護、医療と障害福祉サービス連携を充実すれば、わずかながら報酬が付くという改定も行われました。

このように、診療報酬改定を通じて政策誘導が行われていることは間違いありません。国の考える、あるべき医療・福祉の提供体制に近づけるために、報酬をつけたり、加算をつけたりして誘導します。日本中の施設が報酬を取ろうとして、サービス提供体制が変化していきま。そうするとそれが標準となり、出ていないところはペナルティとして減算されます。診療報酬でよく見られる手法ですが、介護報酬・障害報酬でも行われるようになってきました。我々は、同一法人内に医療・高齢福祉・障害福祉・児童福祉の施設があるので、医療・介護連携、医療・障害福祉サービス連携などは、報酬に関係なく以前から日常的に行っていました。それが今回の報酬改定で評価され、点数が付きました。必要と思っ行ってっているサービスが後から評価されることもあります。これからも、法人全体として質の高いサービスを提供し続ける事を目標に日々努力していきたいと思。思います。

2024年度を迎えて



社会福祉法人 京都社会事業財団
理事長 野口雅滋

二条保育園

基本方針

京都市による人件費の大幅な削減があった。法人3カ園で知恵を出し合い、財政を好転させるべく取り組む必要がある。

新型コロナが第5類となり日常を取り戻しつつある。園外保育も含め自らが環境に働きかけ、生き生きとした毎日を通せるよう職員・保護者で力を合わせていきたい。

重点項目

- 1 キャリアアップ研修受講を進め、保育に還元
- 2 今年度送りにした畑整備をし、関わりが心豊かになるよう手立てする
- 3 子どもの育ちが家族の喜びに繋がるよう、丁寧に関わっていく

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7番地
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019
URL: <http://www.nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>



北野保育園

基本方針

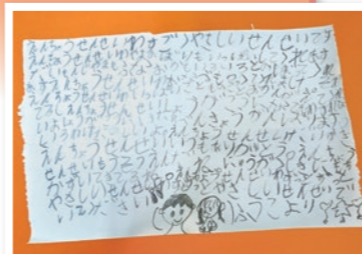
法人保育園3カ園の統一基本理念をさらに具現化して、保育展開を図る。

- 子ども家庭庁が設置され、今後子どもに関連する様々な政策が提示される見込みで、保育園運営に資することがあれば対応する。
- 財務状況を好転できるよう法人3カ園が情報を共有し、3カ園で取り組む。

重点項目

- 1 職員間の情報共有の密度を高め、チームとして保育に取り組む
- 2 職員研修を積極的に進める
- 3 子ども達の保育環境を豊かにするため、施設整備を進める

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上ル老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
URL: <https://www.kyoto-kitanohoikuen.jp/>



京都桂川園

基本方針

当園では人材確保・育成が喫緊の課題であり、新しい管理体制や人事考課の本格実施によって職員のやりがいのある組織づくりを進めるとともに、中期計画に掲げた「自己決定・尊厳・主体性」の尊重を実践目標に具体的な取り組みの検討を進めます。また、今期の制度及び報酬改定内容に適切に対応して行きます。

重点項目

- 1 人材確保・職員育成を目指した組織・管理体制の見直し
- 2 令和6年度報酬改定を増収に結び付ける諸対応の実施
- 3 基本理念・尊厳を重視した支援の浸透
- 4 京都桂病院（協力医療機関）との協力体制の維持と円滑な連携
- 5 地域交流事業の再開（施設機能を活用したカフェ・サロンの検討）

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
URL: <https://katsuragawaen.com/>
E-mail: info@katsuragawaen.com



レフレージョン活動の様子

京都厚生園

基本方針

新しい組織体制のもと、介護保険制度・介護報酬改定に伴う対応を行うと共に、中期計画（老朽化を踏まえた経営改善）を具体化するための検討を開始します。各事業管理者が事業の適正な運営と将来に向けた計画を発信し、実行できる仕組みを作り、人材の活躍の機会を増やし、職員一人ひとりが「なりたい姿」になれる組織を目指します。

重点項目

- 1 専門職の確保にむけた検証、京都桂川園との連携強化
- 2 黒字経営が可能な通所介護の運営スタイルの検証
- 3 業務の効率化を目指した生産性向上の取り組み
- 4 京都桂病院（協力医療機関）との協力体制の維持と円滑な連携

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191
URL: <http://www.kyotokouseien.com/>
E-mail: kswf@kyotokouseien.com



松陽児童館

基本方針

「おかえりなさいが待っている☆松陽児童館」をスローガンに関わった全ての人の心のよりどころとなれるような児童館を目指します。

新たな支援方法を常に模索し地域のすべての子どもたちの健やかな育ちと子育て家庭の支援に努めます。学童クラブは今後も人数増加が続くため、安心安全を確保できるよう環境整備を行います。

重点項目

- 1 子育て支援
- 2 遊びを通じた子どもたちの健全育成
- 3 地域との連携
- 4 職員研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
URL: <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp



昭和保育園

基本方針

長年実践してきたあそびを基調とした保育により、子どもの健やかな成長を手助けします。

東山区は京都市内の中でも子ども数の減少が著しいため、子育て家族が孤立しないように、従来実施してきた子育て支援事業の見直しを行い、より実践的な保護者支援に努めます。

重点項目

- 1 季節の食材を活かした、保護者参加型の食育活動
- 2 地域住民にとって利用しやすい子育て相談窓口
- 3 園の魅力が伝わるような積極的な広報活動
- 4 保育備品や大型遊具の安全面を確保するための補強

〒605-0994 京都市東山区鞆町七条下ル一橋宮ノ内町15-4
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743
URL: <https://www.showahoikuen.net>
E-mail: showa.renga@showahoikuen.net



ライフ・イン京都

基本方針

本館のテラス防水工事と内壁、天井の塗り替え工事を行いリフレッシュを図ると共に、レストラン委託業者変更により「食の楽しみ」を追求し、入居率向上につなげます。

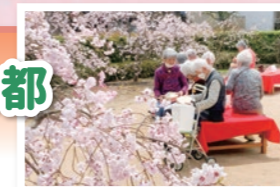
介護報酬改定では新規加算取得を目指し、法人内医療機関との連携強化に努めます。

災害対策では入居者はもとより地域の福祉避難所、児童館利用の子どもさん達の一時避難場所として公益的な役割も担います。入居者、職員共にあたたかいホームを目指します。

重点項目

- 1 介護・看護の質向上、多職種連携強化、全職員の接遇力向上
- 2 償却満了者数及び退去者数を上回る新規入居の推進
- 3 入居者、家族、職員等、関わる人全ての基本的な人権の尊重
- 4 災害・感染症BCPIに沿った想定訓練実施
- 5 松陽合同防災会を軸とした地域とのつながりの強化

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899
URL: <https://lifeinkyoto.or.jp>
E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp



にしがも舟山庵

基本方針

令和6年度から「あたたかさのある組織をつくる」ことを組織目標とし、3つの取り組みを実施する。

- 1) 入居者が自分を大切に、尊重されながら暮らせる
- 2) 職員が自分を大切に、尊重されながら働ける
- 3) 地域の方との語り合いや地域活動参加を通して地域を知り、高齢者福祉の現状や未来の希望の相互理解を図る。

重点項目

- 1 入居者の楽しみや希望、安心感のもてる暮らしの追求
- 2 職員が自らのスキルを活かせ、居場所がある職場づくり
- 3 地域とのつながりづくり

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
URL: <https://funayamaan.com/>
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp



高齢・障害者事業「中期計画」について

高齢事務センター センター長
中期計画策定委員 阿部 裕光



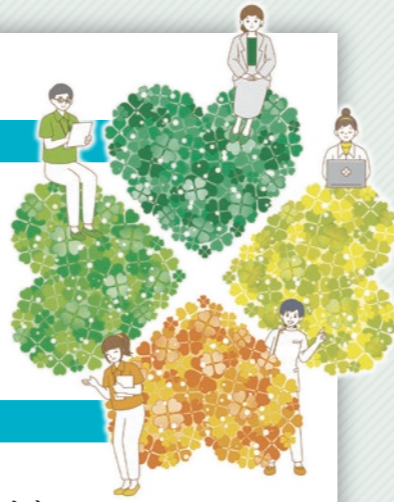
このたび、法人内の高齢・障害4施設は、老人及び障害者福祉や介護業界を取り巻く状況、各施設の運営状況を踏まえ、令和6年度から令和10年度の5年間の取り組みを盛り込んだ中期計画を策定しました。

本「中期計画」については、国の社会保障政策等の動向や第9期介護保険事業計画の策定状況等を見極め、当法人の高齢・障害事業が将来にわたって継続的に安定した事業を地域に提供していくために、「サービスの質の向上・確保」「経営基盤の充実への取り組み」を図り、社会福祉、高齢者福祉、障害者福祉を行う施設としての責務を果たしていくことを基本としました。

中期計画

I. 共通項目

- 1 働きがいのある組織づくり（人材確保・職員育成）
- 2 経営基盤の充実への取り組み（業務の効率化）
- 3 サービスの質の向上・維持・確保（ロボット、ICT機器の積極的な導入など）
- 4 災害・感染症等への対応（災害時における事業・業務継続に向けて）
- 5 地域における公益的な取り組みの推進（地域共生社会の実現に向けて）



II. 施設別実施事項

1 京都厚生園 — 【この地域であり続けていくために】

- (1) 老朽化対策・経営基盤の確立・地域共生社会に向けた将来構想を検討していきます
- (2) 京都桂川園と連携し、人材確保・人材育成に特化した戦略を立てていきます
- (3) 安心・安全な事業継続のための基盤整備を継続します
- (4) 地域や利用者に対する介護予防の取組を継続していきます
- (5) 地域の誰もが日常的な困りごとを気軽に相談できる事業を継続していきます
- (6) 支援が必要となった時には、柔軟に制度や資源を利用できるようにサポートし、今までの地域や社会との繋がりが継続したまま暮らせる環境づくりを目指します
- (7) 多世代間の交流や相互の支え合いができ、誰もがやりがいや役割を得られる場所づくりをします

2 京都桂川園 — 【「らしく」「いきる」をサポート】

- (1) 京都厚生園と連携し、人材確保・人材育成のしくみを再構築します
- (2) 経営状況を見極め、業務の効率を図ったうえで、将来への投資につなげます
- (3) 最期まで「自己決定」「尊厳」「主体性」を尊重できる環境を整えます
- (4) 事業継続と利用者・職員の安全確保に努めます
- (5) 京都桂川園の施設機能を活用。地域の誰もが生きがいをもったライフスタイルを送る活動を推進します

3 にしがも舟山庵 — 【あたたかさのある組織をつくる】

- (1) 入居者が自分を大切にし、尊重されながら暮らせる
- (2) 職員が自分を大切にし、尊重されながら働ける
- (3) 地域の方との語り合いや地域活動参加を通して地域を知り、高齢者福祉の現状や未来の希望の相互理解を図る

4 ライフ・イン京都 — 【共に支え合い思いやりあふれるホームをつくる】

- (1) 居室・共用設備の整備
- (2) 利便性向上
- (3) 働きがいのある組織づくり（人材確保・職員育成）
- (4) 災害・感染症等への対応
- (5) その他 健康長寿・介護予防推進活動の継続



令和6年度 各施設の 事業計画

ももの木学園

基本方針

虐待や発達障害の影響による心身の困難を抱えた子どもたちが京都市内はもとより他府県からも入所しています。施設全体で取り組む治療共同体的な支援のもとに、それぞれの子どもにふさわしい養育と治療を模索していきます。そのために、施設内での多職種の協働と、外部関係機関との連携を丁寧に行います。



重点項目

- 1 定員を維持して事業を継続する
- 2 生活—心理—医療—教育の専門性が有機的につながる個別のケアを行う
- 3 子どもに応じた自立の形を模索する

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp

つばさ園

基本方針

社会的養育推進計画で国が示している“家庭養育優先、里親推進、施設の小規模化地域分散化”の方向性は、現在“発達性トラウマ障害”と言われる子どもたちへの対応に追われている施設の現状とは未だ乖離しております。今後、どのように施設運営を進めていくのか、ももの木学園と一緒に進めていきたいと思っております。



重点項目

- 1 都道府県社会的養育推進計画の検討
- 2 被虐待児への支援
- 3 自立支援
- 4 地域小規模児童養護施設の支援の充実

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

〈令和6年度から令和10年度〉

児童福祉事業「中期計画」について

北野保育園
園長 澤村 忠則

法人の児童福祉施設は保育園・児童厚生施設・児童養護施設・児童心理治療施設と多岐にわたっていてそれぞれ課題が違います。又、子ども家庭庁が創設され、今後5年間でどのような政策が出されるのか不確定要素もあります。

法人の行動方針の【①私たちは、利用者の人権を尊重し、良質かつ安心・安全な社会福祉事業を行います。】については基本的な部分ですので、安心・安全を重点に児童福祉6施設の中期計画を提示いたします。

児童福祉6施設の中期計画

大規模災害が頻発しており、いままでの訓練内容を検証し、又、事業継続についてもより具体化する必要がある。又、新型コロナの感染拡大で事業展開に多大な影響があった。今後、新たな感染発生に備える必要がある。

- 1 非常災害時の事業継続計画の作成。 達成時期 ▶ 令和6年度
- 2 災害等被害が生じた場合の、児童福祉施設間で協力体制が組めないか検討する。 達成時期 ▶ 令和10年度
- 3 事業展開で地域との連携を深める。 達成時期 ▶ 令和10年度